

一つぶ一つぶのおこめ

くり原小学校 二年 山本 じゅり

わたしは、ごはんが大すきです。

大すきなので、おこめを一つぶものこさず
にたべるようにしています。けれど、わたし
はおこめがどうやって作られているのかを知
りませんでした。

六月に、わたしのいもうとが、ほいくえん
のぎょうじで田うえをしました。いもうとに
田うえの話を聞いてみました。

「一つ一つのなえをうるのはたいへんだっ
たよ。おこめができるのはあきだから、そ
れまでの間は元気にそだつように、のう家
さんがおせわをするんだよ。」

と、教えてくれました。
いもうとの話を聞いて、おこめを作ること
はとてもたいへんで、時間もかかるというこ
とを知りました。

田うえのあと、どのようなおせわをするの
かが分からなかったので、しらべてみました。

おこめを虫からまもったり、水のりょうをち
ょうせつしたりすることが分かりました。の
う家さんはあつい田も、おこめをそだててく
れているんだということを知って、おどろき
ました。なぜかというところ、田うえのあと、い
ねかりをするまでそんなにすることがあると
は思っていなかったからです。

わたしは、いもうこの話と、自分でしらべ
たことをきっかけに、おこめがどんなにたい
せつにそだてられているのかを知ることがで

きました。いつも、ごはんをのこさずにたべ
ていますが、一つぶ一つぶのおこめをもつと
だいじにたべようと思いました。

これからも、のう家さんへのかんしゃをわ
すれずに、大好きなごはんをたくさんたべよ
うと思います。